第 28 回常民文化研究講座

古文書修復実習の募集

2024 年度古文書修復実習のご案内をいたします。参加ご希望の方は、申し込み Form に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

今回の古文書修復実習では、修復の基本となる ① 記録･解体 → ② 修理（繕い・裏打ち）→ ③ 復原（化粧裁ち・製本）の３工程と、これに加えて④襖や屏風などの下張り文書の剥離作業を体験的に学んでいただきます。

「① 記録･解体」は、修復前の古文書の寸法や傷み具合などを記録し、②に備えて古文書を展開・解体する工程です。併せて古文書の調査・整理・保存（現状記録や目録データベース化など）、および文化財レスキューの実例や実践的方法についても、ご説明・ご提案いたします。

「② 修理」は、繕いや裏打ちなどの技術をつかって、傷んだ古文書を補修・補強します。和紙・正麩糊・刷毛など、さまざまな材料や道具を扱います。この工程では、もっとも古文書修復らしい体験ができるでしょう。

「③ 復原（化粧裁ち・製本）」は、裏打ちの和紙部分を整え（化粧裁ち）、製本の仕立て直しをして、もとの形にもどします。製本やこより作りの技術は、史料取扱い機関での業務や、古文書調査の際にも役立つと思います。

これら3工程に加えて、「④ 剥離」では、襖や屏風の下張り文書の剥離技術を体験していただきます。古い襖や屏風には古文書が下張りされており、近年、その史料的価値が見直されています。

受講者は4名ずつ4つのグループに分かれ、以上の4つの工程の技術内容を、それぞれ半日ずつ実習することになります。

皆様のご参加をお待ちしております。

神奈川大学日本常民文化研究所

※②③の実習には擬似文書を用い、原則として原文書はつかいません。

■ 日程

2025 年 3 月 9 日(日)

10:00～17:00　基本的な古文書修復技術の説明及び実習

①現状の記録・解体　②修理(繕い・裏打ち)

③復原(化粧裁ち、製本)　④下張文書の剥離の工程実習

2025 年 3 月 10 日(月)

09:30～16:30　同上

16:30～17:00　反省会

■ 講師

関口 博巨　（神奈川大学日本常民文化研究所所員・国際日本学部歴史民俗学科教授）

白水 智　（神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員・中央学院大学教授）

山口 悟史　（神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員・東京大学史料編纂所技術専門職員）

中村 慧　（杉並区生涯学習推進課文化財係）

平田 茉莉子　（神奈川大学日本常民文化研究所学芸員）

■ 会場 日本常民文化研究所 資料整理修復室

（神奈川大学横浜キャンパス 3 号館地下 2 階）

■ 資料代　2,000 円　※資料代は当日受付でお支払い下さい。

■ 定員　16 名　※定員を超えた場合は抽選となります。

■ 申込　下記 URL 及び QR コードより申し込み **Form にてご応募**ください。

■ 締切　**2025 年 1 月 24 日（金）**

※抽選を行う場合がありますので締切は厳守してください。

※抽選の結果は、2025 年 2 月 7 日（金）にメールにてご連絡いたします。

ⅰ）折り返し受講票をお送りしますので、当日ご持参ください。

ⅱ）実習は 2 日間通しでの受講になりますのでご留意ください。

ⅲ）出張依頼状をご希望の方は、必要事項を参加申込書にご入力ください。

■申込先・お問合せ■

URL　http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/exhibition/list/28_001.html

神奈川大学日本常民文化研究所　古文書修復実習　係
〒221-8686　神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
TEL　045-481-5661(内線 4358)　FAX　045-413-4151
Mail　jomin-komonjo28@kanagawa-u.ac.jp